

第5次芝山町総合計画中期基本計画・
第3次芝山町まち・ひと・しごと創生
総合戦略策定のための
町民意識調査報告書

調査の概要

調査地域	芝山町全域
調査対象	16 歳以上の町民 2,000 人
調査方法	無作為抽出による郵送配布、郵送回収及びインターネット回収
調査期間	令和 6 年 5 月～令和 6 年 6 月末
回収結果	有効回収数 923 票(うちインターネット回答 176 票) 回収率 46.2%

■調査結果

回答者の属性

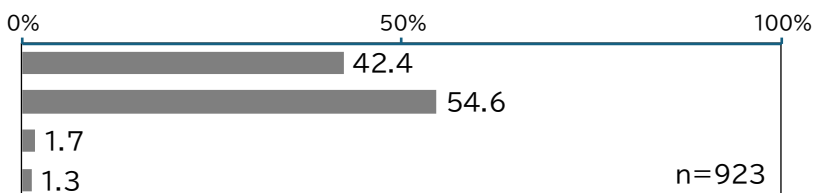
① 性別

問1. あなたの性別は(1つに○)

男女構成は、「女性」が 54.6%、「男性」が 42.4%、「回答しない」が 1.7%となっている。

属性1:性別(単一回答)

総数	923	100.0%
男性	391	42.4%
女性	504	54.6%
回答しない	16	1.7%
無回答	12	1.3%



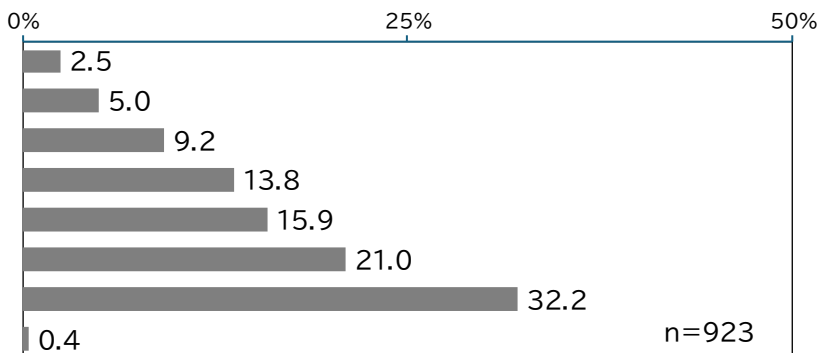
② 年齢

問2. あなたの年齢は(1つに○)

年齢構成は、「70 歳以上」が 32.2%と最も多く、次いで「60～69 歳」が 21.0%、「50～59 歳」が 15.9%、「40～49 歳」が 13.8%となっている。

属性2:年齢(単一回答)

総数	923	100.0%
19歳以下	23	2.5%
20～29歳	46	5.0%
30～39歳	85	9.2%
40～49歳	127	13.8%
50～59歳	147	15.9%
60～69歳	194	21.0%
70歳以上	297	32.2%
無回答	4	0.4%



③ 居住地区

問3. あなたの居住地区は(1つに○)

居住地区は、「南地区」が 28.5%と最も多く、次いで「南西地区」が 19.2%、「西南地区」が 14.0%、「西地区」が 10.4%となっている。

属性3:居住地区(単一回答)

総数	923	100.0%	0%	20%	40%
南地区(小池1～9・バルールド・芝山・芝山台・大台宿・南、北、西)	263	28.5%			28.5
東地区(山中東・西・高谷・殿部田・境宮崎・上、下吹入)	90	9.8%		9.8	
西南地区(新井田(はにわ台を除く)・高田東・西・牧野東・西・宝馬)	129	14.0%		14.0	
中央地区(加茂・白枳・浅川・稲葉・飯櫃・小原子・山田)	89	9.6%		9.6	
西地区(岩山・川津場・三和・あけぼの・スカイビレッジ・谷平野・朝倉・一本松)	96	10.4%		10.4	
北地区(菱田東・中郷・辺田・菱田宿・中谷津・住母家・千代田・坂志岡)	70	7.6%		7.6	
南西地区(新井田新田・はにわ台東・南、北1、北2・ハニワ台ニュータウン)	177	19.2%		19.2	
無回答	9	1.0%		1.0	n=923

④ 職業

問4. あなたの職業は(兼業の方は主な職業をお答えください)(1つに○)

職業は、「会社・工場・商店・官公庁などに勤務」が 27.5%と最も多く、次いで「無職」が 21.7%、「パート・アルバイト」が 15.9%、「農業」が 11.8%となっている。

属性4:職業(単一回答)

総数	923	100.0%	0%	20%	40%
農業	109	11.8%		11.8	
自営業(家族従業者を含む)・会社経営・団体役員	86	9.3%		9.3	
会社・工場・商店・官公庁などに勤務	255	27.6%		27.6	
パート・アルバイト	147	15.9%		15.9	
家事専業	77	8.3%		8.3	
学生	25	2.7%		2.7	
無職	200	21.7%		21.7	
その他	19	2.1%		2.1	
無回答	5	0.5%		0.5	n=923

生活実態・生活実感について

問5. 次の項目について、あなたの生活実態や生活実感に一番近いものを5つの選択肢の中から選んでください。(○は1つずつ)

(1)産業振興

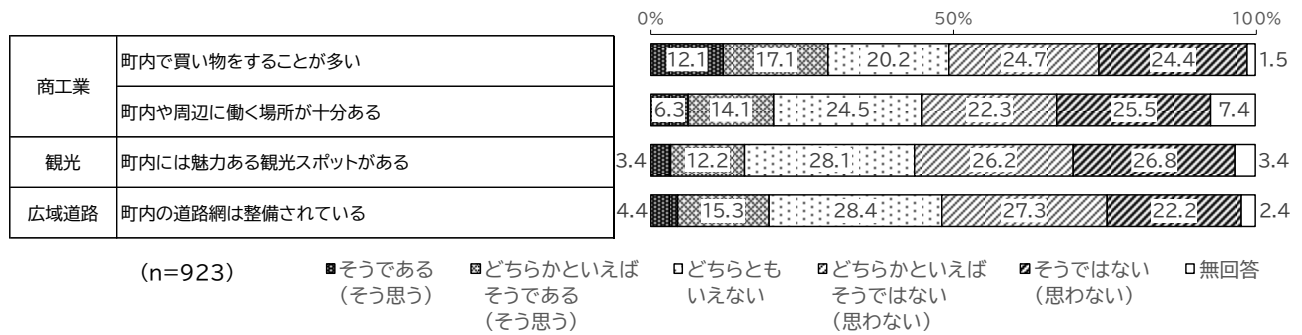
町内で買物をする人が多いかでは、「どちらかといえばそうではない」が 24.7%と最も多く、次いで「そうではない」が 24.4%で、両者の合計は 49.1%となっている。一方、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合計した『そうである』の割合を回答者の年齢別、居住地区別に集計して比較すると、年齢別では20～29歳(47.8%)や70歳以上(39.7%)、居住地区別では西地区(54.2%)や西南地区(40.3%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内や周辺に働く場所が十分あるかでは、「そうではない」が 25.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 24.5%となっている。『そうではない』の合計は 47.8%で、『そうである』の合計(20.4%)を大きく上回っている。また、年齢別では50～59歳(27.2%)や40～49歳(26.8%)、居住地区別では西地区(27.1%)や中央地区(25.8%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内には魅力ある観光スポットがあるかでは、「どちらともいえない」が 28.1%と最も多く、次いで「そうではない」が 26.8%となっている。『そうではない』の合計は 53.0%で、『そうである』の合計(15.6%)を大きく上回っている。年齢別では、30～39歳(20.0%)や19歳以下(17.4%)、居住地区別では北地区(21.4%)や東地区(18.9%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内の道路網は整備されているかでは、「どちらともいえない」が 28.4%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 27.3%、「そうではない」が 22.2%で、両者を合わせた『そうではない』は 49.5%となっている。年齢別では30～39歳(27.1%)や70歳以上(22.2%)、居住地区別では南西地区(25.4%)や西南地区(22.5%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-1 産業振興に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
商工業	町内で買い物をすることが多い	13.0%	47.8%	27.1%	18.9%	21.8%	23.2%	39.7%
	町内や周辺に働く場所が十分にある	13.0%	26.1%	20.0%	26.8%	27.2%	18.6%	15.5%
観光	町内には魅力ある観光スポットがある	17.4%	8.7%	20.0%	17.3%	12.2%	14.9%	16.2%
広域道路	町内の道路網は整備されている	21.7%	17.4%	27.1%	13.4%	18.4%	18.0%	22.2%

※【年齢別】は項目ごとに割合が高い順に 1位 2位 3位 で塗り分け (以下同様)

【居住地区別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
商工業	町内で買い物をすることが多い	26.2%	15.6%	40.3%	14.6%	54.2%	17.1%	29.9%
	町内や周辺に働く場所が十分にある	19.0%	20.0%	17.1%	25.8%	27.1%	24.3%	18.1%
観光	町内には魅力ある観光スポットがある	17.1%	18.9%	11.6%	5.6%	15.6%	21.4%	16.4%
広域道路	町内の道路網は整備されている	19.8%	22.2%	22.5%	11.2%	14.6%	12.9%	25.4%

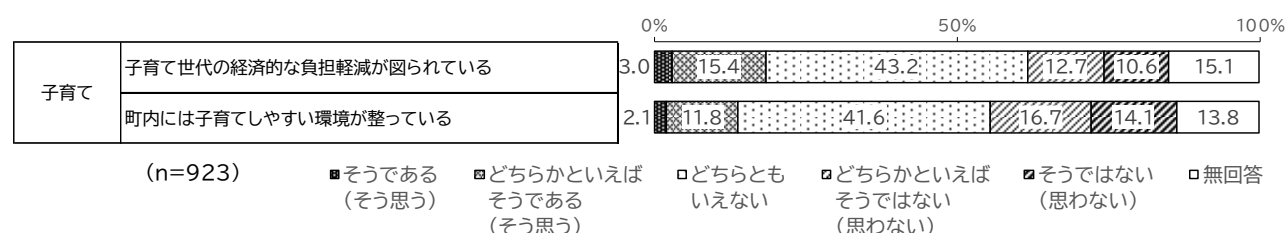
※【居住地区別】は項目ごとに割合が高い順に 1位 2位 3位 で塗り分け (以下同様)

(2)子育て

子育て世代の経済的な負担軽減が図られているかでは、「どちらともいえない」が 43.2%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうである」が 15.4%、「どちらかといえばそうではない」が 12.7%となっている。年齢別では40～49歳(26.8%)や50～59歳(22.4%)、居住地区別では東地区(22.2%)や南地区(21.3%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内には子育てしやすい環境が整っているかでは、「どちらともいえない」が 41.6%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 16.7%、「そうではない」が 14.1%で、両者の合計は 30.8%となっている。年齢別では20～29歳(26.1%)や30～39歳(21.1%)、居住地区別では南地区(18.6%)や南西地区(16.4%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-2 子育てに関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
子育て	子育て世代の経済的な負担軽減が図られている	21.7%	15.2%	20.0%	26.8%	22.4%	18.0%	13.1%
	町内には子育てしやすい環境が整っている	17.4%	26.1%	21.2%	11.8%	14.3%	9.3%	13.5%

【居住地区別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
子育て	子育て世代の経済的な負担軽減が図られている	21.3%	22.2%	17.1%	13.5%	16.7%	15.7%	18.1%
	町内には子育てしやすい環境が整っている	18.6%	14.4%	12.4%	9.0%	9.4%	5.7%	16.4%

(3)生涯学習・スポーツ・文化

自分は生涯学習活動に取り組んでいるかでは、「そうではない」が 31.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 20.5%、「どちらかといえばそうである」が 16.8%となっている。年齢別の『そうである』の割合は19歳以下(60.9%)で特に高く、次いで20～29歳(32.6%)となっている。居住地区別では東地区(32.2%)や南西地区(27.7%)などの割合が高くなっている。

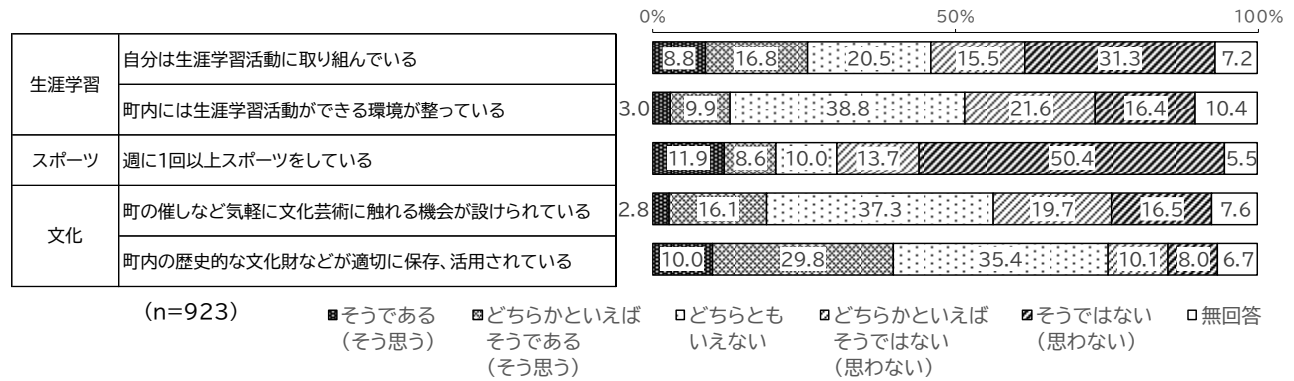
町内には生涯学習活動ができる環境が整っているかでは、「どちらともいえない」が 38.8%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 21.6%、「そうではない」が 16.4%で、両者の合計は 38.0%となっている。年齢別では20～29歳(21.7%)や70歳以上(17.8%)、居住地区別では東地区(16.7%)や西南地区(14.7%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

週に1回以上スポーツをしているかでは、「そうではない」が 50.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうではない」が 13.7%で、両者の合計は 64.1%となっている。年齢別の『そうである』の割合は19歳以下(73.9%)で特に高く、次いで60～69歳(23.7%)となっている。居住地区別では東地区(24.4%)や西南地区(23.3%)などで割合が高くなっている。

町の催しなど気軽に文化芸術に触れる機会が設けられているかでは、「どちらともいえない」が 37.3%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 19.7%、「そうではない」が 16.5%で、両者の合計は 36.2%となっている。年齢別では19歳以下(47.8%)や30～39歳(30.6%)、居住地区別では南地区(56.7%)や南西地区(54.2%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内の歴史的な文化財などが適切に保存、活用されているでは、「どちらともいえない」が 35.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 29.8%、「どちらかといえばそうではない」が 10.1%となっている。「そうである」(10.0%)と「どちらかといえばそうである」の合計は 39.8%となっている。年齢別では20～29歳(52.2%)や30～39歳(50.6%)、居住地区別では西南地区(45.7%)や東地区(42.2%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-3 生涯学習・スポーツ・文化に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
生涯学習	自分は生涯学習活動に取り組んでいる	60.9%	32.6%	24.7%	22.8%	18.4%	27.3%	25.9%
	町内には生涯学習活動ができる環境が整っている	17.4%	21.7%	11.8%	9.4%	8.8%	8.8%	17.8%
スポーツ	週に1回以上スポーツをしている	73.9%	21.7%	22.4%	18.9%	17.7%	23.7%	15.5%
文化	町の催しなど気軽に文化芸術に触れる機会が設けられている	78.3%	45.7%	55.3%	56.7%	55.1%	54.6%	49.5%
	町内の歴史的な文化財などが適切に保存、活用されている	43.5%	52.2%	50.6%	49.6%	44.2%	37.6%	29.3%

【居住地区別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
生涯学習	自分は生涯学習活動に取り組んでいる	23.6%	32.2%	25.6%	27.0%	25.0%	20.0%	27.7%
	町内には生涯学習活動ができる環境が整っている	11.8%	16.7%	14.7%	12.4%	13.5%	10.0%	12.4%
スポーツ	週に1回以上スポーツをしている	19.0%	24.4%	23.3%	20.2%	17.7%	17.1%	22.0%
文化	町の催しなど気軽に文化芸術に触れる機会が設けられている	56.7%	51.1%	53.5%	51.7%	51.0%	50.0%	54.2%
	町内の歴史的な文化財などが適切に保存、活用されている	38.4%	42.2%	45.7%	40.4%	36.5%	34.3%	40.1%

(4)住環境・公共交通・生活環境

住宅、商業、農地、工場などが計画的に開発・配置されているかでは、「どちらともいえない」が 37.4%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 17.1%、「そうではない」が 17.0%で、両者の合計は 34.1%となっている。年齢別では19歳以下(26.1%)や20～29歳(21.7%)、居住地区別では東地区(21.1%)や西地区(20.8%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内の公園の量・施設に満足しているかでは、「どちらともいえない」が 27.5%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 25.7%、「そうではない」が 25.5%で、両者の合計は 51.2%となっている。年齢別では20～29歳(23.9%)や30～39歳(16.5%)、居住地区別では東地区(16.7%)や西地区(14.6%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町内の公共交通は充実しているかでは、「そうではない」が 47.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうではない」が 22.1%で、両者の合計は 69.2%となっている。一方、『そうである』の割合は、年齢別では20～29歳(17.4%)や19歳以下(13.0%)、居住地区別では東地区(11.1%)や南地区(8.7%)などで比較的高いものの、多くの年齢層、居住地区で1割を下回っている。

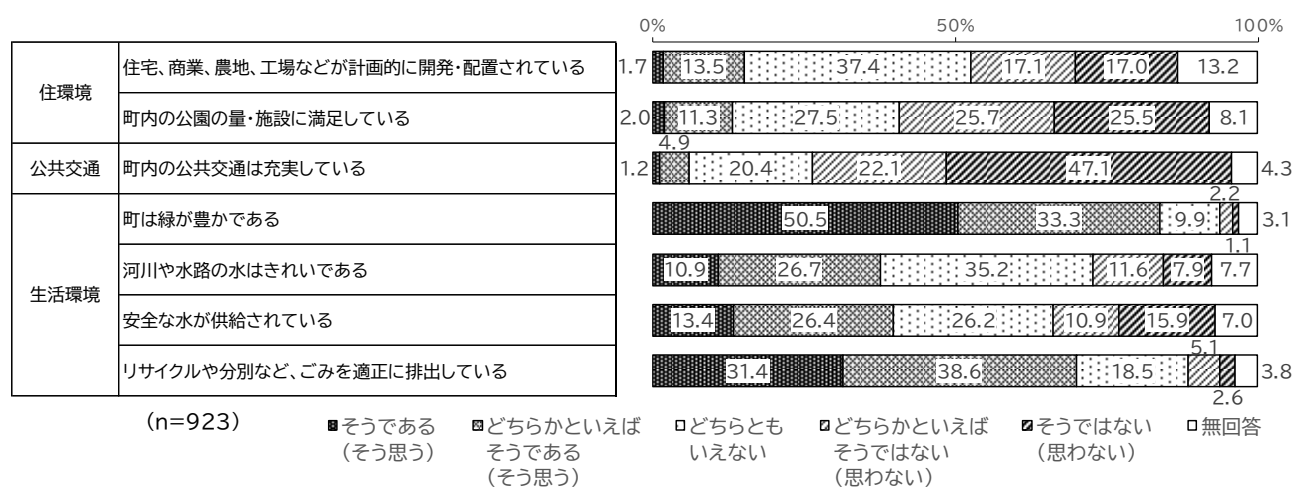
町は緑が豊かだと思うかでは、「そう思う」が 50.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が 33.3%で、両者の合計は 83.8%となっている。年齢別では19歳以下(91.3%)や50～59歳(89.8%)、居住地区別では東地区(87.8%)や南西地区(85.3%)などで『そうである』の割合が高く、70歳以上を除くすべての年齢層と居住地区で8割を超えている。

河川や水路の水はきれいかでは、「どちらともいえない」が 35.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 26.7%、「どちらかといえばそうではない」が 11.6%となっている。『そうである』の割合は、年齢別では19歳以下(47.8%)や50～59歳(42.2%)、居住地区別では北地区(48.6%)や東地区(42.2%)などで高くなっている。

安全な水が供給されているかでは、「どちらかといえばそう思う」が 26.4%と最も多く、「そう思う」(13.4%)との合計は 39.8%となっている。『そうである』の割合は、年齢別では20～29歳(65.2%)や19歳以下(47.8%)、居住地区別では南西地区(58.2%)や北地区(40.0%)などで高くなっている。

リサイクルや分別など、ごみを適正に排出しているかでは「どちらかといえばそう思う」が 38.6%と最も多く、「そう思う」(31.4%)との合計は 70.0%となっている。年齢別では19歳以下(78.3%)や60～69歳(74.7%)、居住地区別では東地区(73.3%)や南西地区(72.3%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-4 住環境・公共交通・生活環境に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
住環境	住宅、商業、農地、工場などが計画的に開発・配置されている(乱開発されていない)	26.1%	21.7%	21.2%	13.4%	17.7%	14.9%	11.8%
	町内の公園の量・施設に満足している	8.7%	23.9%	16.5%	11.0%	10.2%	12.4%	14.1%
公共交通	町内の公共交通は充実している	13.0%	17.4%	9.4%	3.9%	3.4%	3.6%	6.7%
生活環境	町は緑が豊かである	91.3%	89.1%	84.7%	88.2%	89.8%	83.5%	77.1%
	河川や水路の水はきれいである	47.8%	32.6%	35.3%	33.9%	42.2%	40.7%	35.7%
	安全な水が供給されている	47.8%	65.2%	43.5%	38.6%	40.8%	35.1%	37.7%
	リサイクルや分別など、ごみを適正に排出している	78.3%	73.9%	62.4%	65.4%	68.7%	74.7%	71.0%

【居住地区別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

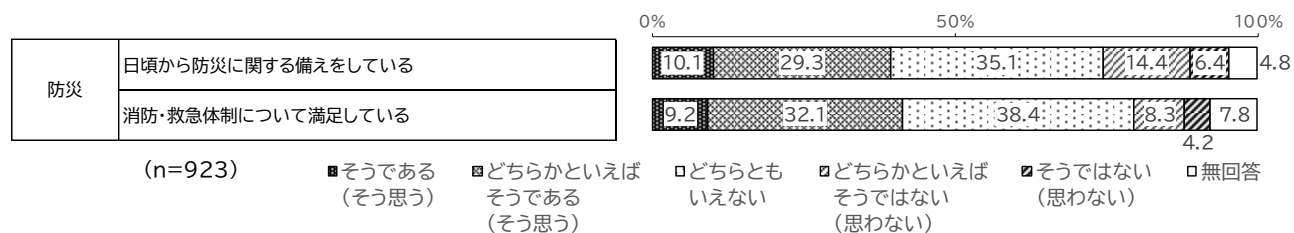
		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
住環境	住宅、商業、農地、工場などが計画的に開発・配置されている(乱開発されていない)	12.9%	21.1%	20.2%	9.0%	20.8%	17.1%	11.9%
	町内の公園の量・施設に満足している	12.5%	16.7%	13.2%	13.5%	14.6%	7.1%	14.1%
公共交通	町内の公共交通は充実している	8.7%	11.1%	6.2%	3.4%	3.1%	7.1%	1.7%
生活環境	町は緑が豊かである	81.7%	87.8%	83.7%	80.9%	84.4%	82.9%	85.3%
	河川や水路の水はきれいである	37.3%	42.2%	37.2%	37.1%	22.9%	48.6%	40.7%
	安全な水が供給されている	38.8%	37.8%	35.7%	27.0%	28.1%	40.0%	58.2%
	リサイクルや分別など、ごみを適正に排出している	71.9%	73.3%	69.8%	65.2%	68.8%	62.9%	72.3%

(5)防災

日頃から防災に関する備えをしているかでは、「どちらともいえない」が 35.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 29.3%となっている。「どちらかといえばそうである」と「そうである」(10.1%)の合計は 39.4%となっている。年齢別では30～39歳(44.7%)や50～59歳(42.2%)、居住地区別では北地区(44.3%)や西南地区(42.6%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

消防・救急体制について満足しているかでは、「どちらともいえない」が 38.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 32.1%となっている。「どちらかといえばそうである」と「そうである」(9.2%)の合計は 41.3%となっている。年齢別では70歳以上(46.5%)や20～29歳(45.7%)、居住地区別では東地区(50.0%)や西南地区(47.3%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-5 防災に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
防災	日頃から防災に関する備えをしている	34.8%	37.0%	44.7%	39.4%	42.2%	35.6%	40.1%
	消防・救急体制について満足している	34.8%	45.7%	31.8%	33.1%	40.1%	43.8%	46.5%

【居住地区別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
防災	日頃から防災に関する備えをしている	39.2%	35.6%	42.6%	37.1%	37.5%	44.3%	39.5%
	消防・救急体制について満足している	42.2%	50.0%	47.3%	39.3%	41.7%	38.6%	33.3%

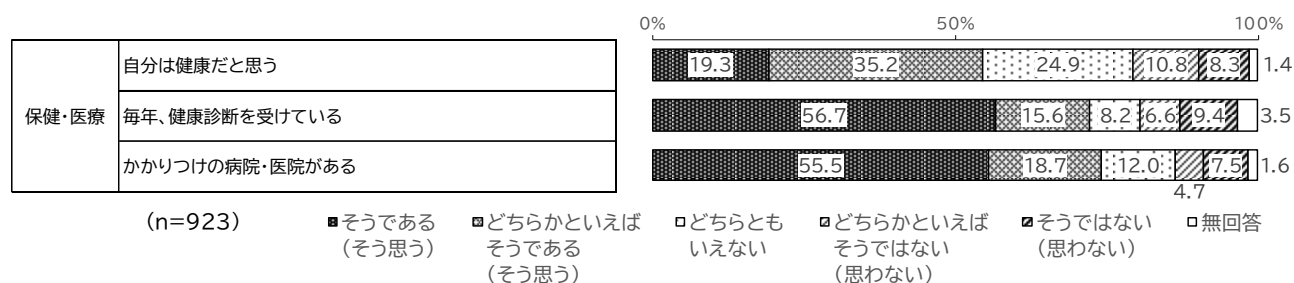
(6)保健・医療

自分は健康だと思うかでは、「どちらかといえばそう思う」が 35.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 24.9%となっている。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」(19.3%)の合計は 54.5%となっている。年齢別では、19歳以下(82.6%)や20～29歳(71.7%)など、若年層ほど『そうである』の割合が高い傾向となっている。居住地区別では北地区(62.9%)や中央地区(59.6%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

毎年、健康診断を受けているかでは、「そうである」が 56.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 15.6%で、両者の合計は 72.3%となっている。年齢別の『そうである』の割合は、30～39歳と50～59歳(ともに 77.6%)で最も高く、30 歳以上のすべての年齢層で7割を超えている。居住地区別では東地区(78.9%)や中央地区(76.4%)などで割合が高くなっている。

かかりつけの病院・医院があるかでは、「そうである」が 55.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 18.7%で、両者の合計は 74.2%となっている。年齢別では70歳以上(87.2%)や60～69歳(78.9%)、居住地区別では東地区(84.4%)や西地区(80.2%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-6 保健・医療に関する実態・実感（単一回答）



【年齢別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
保健・医療	自分健康だと思う	82.6%	71.7%	69.4%	55.1%	49.0%	52.6%	48.8%
	毎年、健康診断を受けている	65.2%	50.0%	77.6%	71.7%	77.6%	76.3%	70.4%
	かかりつけの病院・医院がある	73.9%	78.3%	52.9%	62.2%	64.6%	78.9%	87.2%

【居住地区別】 『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
保健・医療	自分健康だと思う	52.9%	55.6%	56.6%	59.6%	52.1%	62.9%	49.7%
	毎年、健康診断を受けている	70.3%	78.9%	67.4%	76.4%	68.8%	74.3%	74.6%
	かかりつけの病院・医院がある	71.9%	84.4%	72.9%	75.3%	80.2%	75.7%	69.5%

(7)福祉

介護予防、介護サービスが利用しやすいと感じるかでは、「どちらともいえない」が 45.6%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうである」が 15.7%、「どちらかといえばそうではない」が 10.1%となっている。年齢別では60～69歳(26.3%)や70歳以上(25.6%)、居住地区別では東地区(37.8%)や中央地区(32.6%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

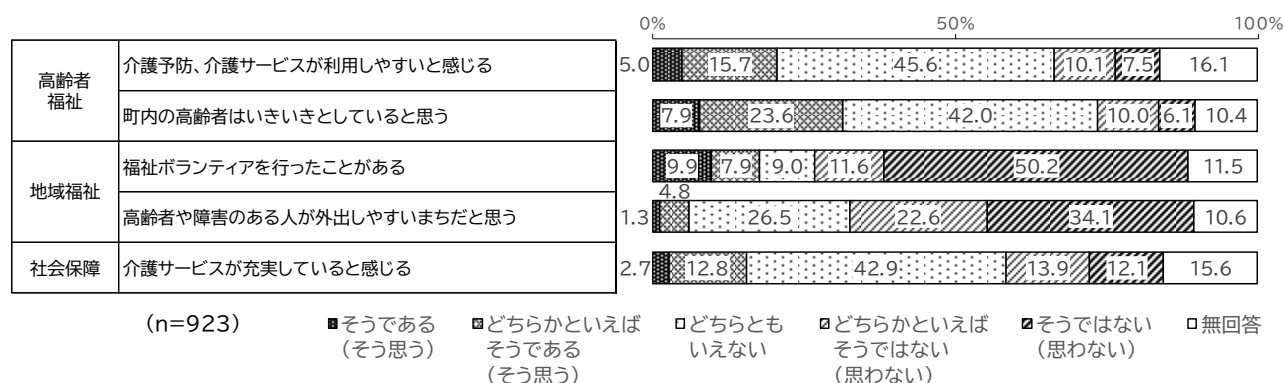
町内の高齢者はいきいきとしていると思うかでは、「どちらともいえない」が 42.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.6%となっている。「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」(7.9%)の合計は 31.5%となっている。年齢別では20～29歳(45.7%)や30～39歳(44.7%)、居住地区別では東地区(40.0%)や西南地区(37.2%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

福祉ボランティアを行ったことがあるかでは、「そうではない」が 50.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうではない」が 11.6%で、両者の合計は 61.8%となっている。年齢別では60～69歳(22.7%)や70歳以上(19.2%)、居住地区別では東地区(31.1%)や中央地区(20.2%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

高齢者や障害のある人が外出しやすいまちだと思うかでは、「そう思わない」が 34.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.6%で、両者の合計は 56.7%となっている。年齢別では19歳以下(26.1%)や20～29歳(15.2%)、居住地区別では東地区(8.9%)や西南地区(7.0%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

介護サービスが充実していると感じるかでは、「どちらともいえない」が 42.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうではない」が 13.9%、「どちらかといえばそうである」が 12.8%となっている。年齢別では60～69歳(18.6%)や70歳以上(18.2%)、居住地区別では東地区 26.7(%)や中央地区(23.6%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-7 福祉に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
高齢者福祉	介護予防、介護サービスが利用しやすいと感じる	17.4%	19.6%	17.6%	11.8%	14.3%	26.3%	25.6%
	町内の高齢者はいきいきとしていると思う	43.5%	45.7%	44.7%	37.8%	32.7%	28.4%	23.6%
地域福祉	福祉ボランティアを行ったことがある	17.4%	8.7%	17.6%	13.4%	15.0%	22.7%	19.2%
	高齢者や障害のある人が外出しやすいまちだと思う	26.1%	15.2%	9.4%	4.7%	4.1%	6.7%	3.4%
社会保障	介護サービスが充実していると感じる	17.4%	17.4%	12.9%	11.8%	10.2%	18.6%	18.2%

【居住地区別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

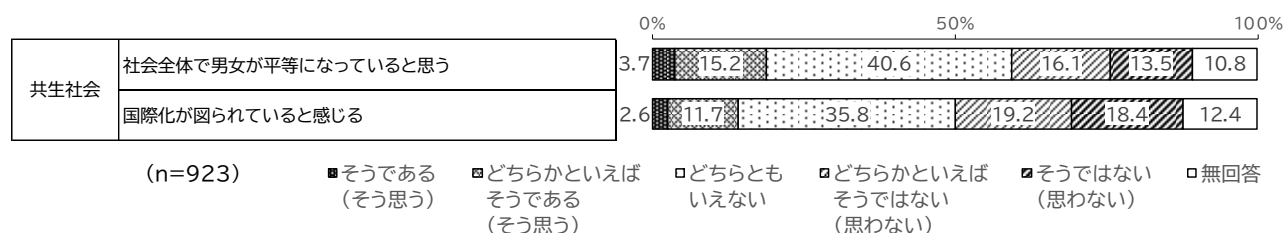
		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
高齢者福祉	介護予防、介護サービスが利用しやすいと感じる	17.5%	37.8%	16.3%	32.6%	21.9%	21.4%	14.1%
	町内の高齢者はいきいきとしていると思う	27.4%	40.0%	37.2%	34.8%	30.2%	37.1%	27.1%
地域福祉	福祉ボランティアを行ったことがある	15.6%	31.1%	16.3%	20.2%	13.5%	17.1%	16.9%
	高齢者や障害のある人が外出しやすいまちだと思う	6.8%	8.9%	7.0%	4.5%	5.2%	2.9%	5.6%
社会保障	介護サービスが充実していると感じる	13.3%	26.7%	14.7%	23.6%	13.5%	15.7%	10.7%

(8) 共生社会

社会全体で男女が平等になっていると思うかでは、「どちらともいえない」が 40.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 16.1%、「どちらかといえばそう思う」が 15.2%となっている。年齢別では20～29歳(32.6%)や19歳以下(26.1%)、居住地区別では西南地区(23.3%)や中央地区(21.3%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

国際化が図られていると感じるかでは、「どちらともいえない」が 35.8%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうではない」が 19.2%、「そうではない」が 18.4%で、両者の合計は 37.6%となっている。年齢別では19歳以下(39.1%)や20～29歳(32.6%)、居住地区別では西南地区(17.8%)や北地区(15.7%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-8 共生社会に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
共生社会	社会全体で男女が平等になっていると思う	26.1%	32.6%	21.2%	13.4%	16.3%	19.1%	19.2%
	国際化が図られていると感じる	39.1%	32.6%	18.8%	18.9%	15.6%	11.3%	7.7%

【居住地区別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
共生社会	社会全体で男女が平等になっていると思う	17.5%	16.7%	23.3%	21.3%	20.8%	11.4%	19.2%
	国際化が図られていると感じる	13.3%	13.3%	17.8%	11.2%	15.6%	15.7%	14.7%

(9) 町政・行財政

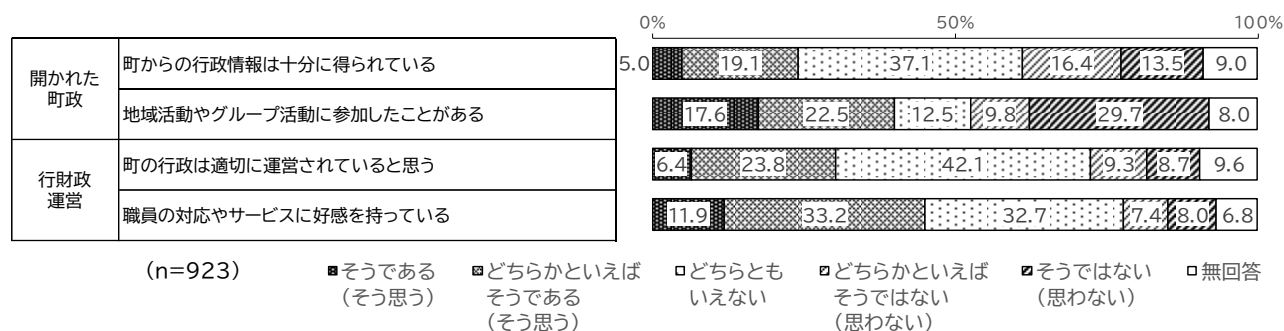
町からの行政情報は十分に得られているかでは、「どちらともいえない」が 37.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそうである」が 19.1%、「どちらかといえばそうではない」が 16.4%となっている。年齢別では19歳以下(30.4%)や70歳以上(27.9%)、居住地区別では東地区(33.3%)や中央地区(25.8%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

地域活動やグループ活動に参加したことがあるかでは、「そうではない」が 29.7%と最も多くなっている。次いで「どちらかといえばそうである」が 22.5%、「そうである」が 17.6%で、両者の合計は 40.1%となっている。年齢別では60～69歳(46.4%)や70歳以上(44.1%)、居住地区別では東地区(54.4%)や中央地区(44.9%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

町の行政は適切に運営されていると思うかでは、「どちらともいえない」が 42.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.8%、「どちらかといえばそう思わない」が 9.3%となっている。年齢別では19歳以下と20～29歳がともに 34.8%、居住地区別では東地区(42.2%)や西南地区(31.8%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

職員の対応やサービスに好感を持っているかでは、「どちらかといえばそうである」が 33.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 32.7%となっている。「そうである」(11.9%)と「どちらかといえばそうである」の合計は 45.1%となっている。年齢別では60～69歳(50.5%)や70歳以上(49.8%)、居住地区別では東地区(54.4%)や西南地区(48.1%)などで『そうである』の割合が高くなっている。

問 5-9 町政・行財政に関する実態・実感(単一回答)



【年齢別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
開かれた町政	町からの行政情報は十分に得られている	30.4%	23.9%	18.8%	19.7%	23.1%	23.7%	27.9%
	地域活動やグループ活動に参加したことがある	17.4%	26.1%	25.9%	37.8%	41.5%	46.4%	44.1%
行財政運営	町の行政は適切に運営されていると思う	34.8%	34.8%	25.9%	24.4%	29.9%	34.5%	30.6%
	職員の対応やサービスに好感を持っている	30.4%	41.3%	35.3%	38.6%	43.5%	50.5%	49.8%

【居住地区別】『そうである』(「そうである(そう思う)」と「どちらかといえばそうである(そう思う)」の合計)の割合

		南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
開かれた町政	町からの行政情報は十分に得られている	22.4%	33.3%	24.0%	25.8%	22.9%	20.0%	23.7%
	地域活動やグループ活動に参加したことがある	39.2%	54.4%	40.3%	44.9%	37.5%	38.6%	33.3%
行財政運営	町の行政は適切に運営されていると思う	27.8%	42.2%	31.8%	29.2%	29.2%	25.7%	29.9%
	職員の対応やサービスに好感を持っている	43.7%	54.4%	48.1%	44.9%	43.8%	42.9%	42.4%

これからの人口政策について

(1) 今後の人口

問6. 芝山町の人口は 6,693 人(2024 年4月1日現在)ですが、あなたは今後の芝山町の人口はどうあるべきだと思いますか。(1つに○)

今後の芝山町の人口はどうあるべきかでは、「人口はもっと増やすべき」が 52.4%と最も多く、次いで「現在の人口を維持すべき」が 17.8%、「全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい」が 17.4%となっている。

年齢別では、いずれの年齢層でも「人口はもっと増やすべき」が最も多い。次いで、20～29歳と60歳以上で「現在の人口を維持すべき」が多く、19歳以下と30～59歳で「全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい」が多い。

地区別では、いずれの年齢層でも「人口はもっと増やすべき」が最も多い。次いで、南地区・中央地区では「現在の人口を維持すべき」が多く、東地区・西南地区・北地区・南西地区では「全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい」が多い。また、西地区では「現在の人口を維持すべき」と「全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい」が同率2位となっている。

問 6 今後の人口について(単一回答)

総数	923	100.0%	0%	50%	100%
人口はもっと増やすべき	484	52.4%	52.4		
現在の人口を維持すべき	164	17.8%	17.8		
全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい	161	17.4%	17.4		
わからない	95	10.3%	10.3		
無回答	19	2.1%	2.1		
			n=923		

【年齢別】

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	23	46	85	127	147	194	297
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人口はもっと増やすべき	13	20	35	65	82	102	166
	56.5%	43.5%	41.2%	51.2%	55.8%	52.6%	55.9%
現在の人口を維持すべき	3	11	18	19	26	39	48
	13.0%	23.9%	21.2%	15.0%	17.7%	20.1%	16.2%
全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい	5	9	20	29	27	28	42
	21.7%	19.6%	23.5%	22.8%	18.4%	14.4%	14.1%
わからない	2	6	12	12	12	20	31
	8.7%	13.0%	14.1%	9.4%	8.2%	10.3%	10.4%
無回答	0	0	0	2	0	5	10
	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	2.6%	3.4%

※【年齢別】は年齢層ごとに割合が高い順に 1位 2位 3位 で塗り分け（以下同様）

【居住地区別】

	南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
合計	263	90	129	89	96	70	177
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人口はもっと増やすべき	134	42	55	48	54	40	106
	51.0%	46.7%	42.6%	53.9%	56.3%	57.1%	59.9%
現在の人口を維持すべき	59	17	26	17	15	6	24
	22.4%	18.9%	20.2%	19.1%	15.6%	8.6%	13.6%
全国的に人口は減少していくのだから、自然にまかせればよい	41	20	29	14	15	15	25
	15.6%	22.2%	22.5%	15.7%	15.6%	21.4%	14.1%
わからない	23	9	19	8	10	7	19
	8.7%	10.0%	14.7%	9.0%	10.4%	10.0%	10.7%
無回答	6	2	0	2	2	2	3
	2.3%	2.2%	0.0%	2.2%	2.1%	2.9%	1.7%

※【居住地区別】は居住地区ごとに割合が高い順に 1位 2位 3位 で塗り分け（以下同様）

(2)人口減少が続いた場合に心配なこと

問7. 人口減少が続いた場合、芝山町で暮らしていく上でどのようなことが心配ですか。(複数選択可)

人口減少が続いた場合に心配なことでは、「生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなること」が65.5%と最も多く、次いで「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること」が63.4%、「地域公共交通がなくなること」が59.5%となっている。

年齢別では、49歳以下で「生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなること」が最も多く、40～49歳(同率1位)と50～59歳で「地域公共交通がなくなること」、60歳以上で「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること」が最も多くなっている。

地区別では、「生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなること」が1位となっているのが南地区・西南地区・北地区・南西地区、「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること」が1位となっているのが南地区(同率1位)・東地区・中央地区・西地区となっている。

問7 人口減少が続いた場合に心配なこと(複数回答)

総数	923	100.0%	0%	50%	100%
生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなること	605	65.5%	65.5		
空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること	585	63.4%	63.4		
地域公共交通がなくなること	549	59.5%	59.5		
税収が減り行政サービスが低下すること	467	50.6%	50.6		
地域コミュニティが維持できなくなること	270	29.3%	29.3		
学校が統廃合される(なくなる)こと	251	27.2%	27.2		
その他	23	2.5%	2.5		
無回答	8	0.9%	0.9		
			n=923		

【年齢別】

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	23	46	85	127	147	194	297
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなること	16	29	59	86	96	128	191
	69.6%	63.0%	69.4%	67.7%	65.3%	66.0%	64.3%
空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること	8	20	53	75	94	131	203
	34.8%	43.5%	62.4%	59.1%	63.9%	67.5%	68.4%
地域公共交通がなくなること	15	21	46	86	103	110	167
	65.2%	45.7%	54.1%	67.7%	70.1%	56.7%	56.2%
税収が減り行政サービスが低下すること	10	17	39	66	89	106	139
	43.5%	37.0%	45.9%	52.0%	60.5%	54.6%	46.8%
地域コミュニティが維持できなくなること	4	7	20	44	32	68	95
	17.4%	15.2%	23.5%	34.6%	21.8%	35.1%	32.0%
学校が統廃合される(なくなる)こと	7	22	40	48	25	50	58
	30.4%	47.8%	47.1%	37.8%	17.0%	25.8%	19.5%
その他	0	1	2	6	4	8	2
	0.0%	2.2%	2.4%	4.7%	2.7%	4.1%	0.7%
無回答	1	0	0	0	0	2	3
	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%

【居住地区別】

	南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
合計	263	90	129	89	96	70	177
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
生活関連サービス(小売・飲食・娯楽・医療機関等)がなくなる こと	172	60	88	54	58	45	124
	65.4%	66.7%	68.2%	60.7%	60.4%	64.3%	70.1%
空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増えること	172	62	79	66	60	33	108
	65.4%	68.9%	61.2%	74.2%	62.5%	47.1%	61.0%
地域公共交通がなくなる こと	153	60	68	50	50	42	122
	58.2%	66.7%	52.7%	56.2%	52.1%	60.0%	68.9%
税収が減り行政サービスが低下すること	131	42	72	41	50	35	93
	49.8%	46.7%	55.8%	46.1%	52.1%	50.0%	52.5%
地域コミュニティが維持できなくなる こと	67	36	34	34	23	30	43
	25.5%	40.0%	26.4%	38.2%	24.0%	42.9%	24.3%
学校が統廃合される(なくなる)こと	70	23	43	26	22	22	42
	26.6%	25.6%	33.3%	29.2%	22.9%	31.4%	23.7%
その他	7	4	2	0	1	3	6
	2.7%	4.4%	1.6%	0.0%	1.0%	4.3%	3.4%
無回答	1	0	1	1	2	0	1
	0.4%	0.0%	0.8%	1.1%	2.1%	0.0%	0.6%

(3)少子化対策に効果的と思われる支援

問8. 町の人口を増やすための少子化対策として、今後、どのような支援が効果的だと思いますか。
(複数選択可)

少子化対策に効果的と思われる支援では、「安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援」が66.7%と最も多く、次いで「若者の就労支援」が55.6%、「子どもの預け場所や居場所の充実支援」が48.3%、「結婚や出産、育児に関する資金貸与や補助支援」が42.4%となっている。

年齢別では、すべての年齢層で「安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援」が最も多く、次いで、19歳以下と50歳以上は「若者の就労支援」、20～39歳は「結婚や出産、育児に関する資金貸与や補助支援」、40～49歳は「子どもの預け場所や居場所の充実支援」が多くなっている。

地区別では、すべての年齢層で「安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援」が最も多く、次いで、「若者の就労支援」が2位となっている地区が多い。中央地区・北地区(同率2位)では「子どもの預け場所や居場所の充実支援」が2位となっている。

問 6 少子化対策に効果的と思われる支援（複数回答）



【年齢別】

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	23	46	85	127	147	194	297
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援	16	30	63	85	118	131	173
	69.6%	65.2%	74.1%	66.9%	80.3%	67.5%	58.2%
若者の就労支援	14	25	53	60	75	115	169
	60.9%	54.3%	62.4%	47.2%	51.0%	59.3%	56.9%
子どもの預け場所や居場所の充実支援	12	20	49	73	69	105	118
	52.2%	43.5%	57.6%	57.5%	46.9%	54.1%	39.7%
結婚や出産、育児に関する資金貸与や補助支援	11	29	54	69	62	77	89
	47.8%	63.0%	63.5%	54.3%	42.2%	39.7%	30.0%
学校などの教育環境の充実支援	10	15	40	60	43	61	74
	43.5%	32.6%	47.1%	47.2%	29.3%	31.4%	24.9%
子どもの貧困やヤングケアラー対策などの支援	10	9	25	37	33	40	65
	43.5%	19.6%	29.4%	29.1%	22.4%	20.6%	21.9%
妊娠出産育児に関する相談サポート支援	7	13	30	27	27	42	51
	30.4%	28.3%	35.3%	21.3%	18.4%	21.6%	17.2%
男女の出会いの場の提供支援	4	9	18	14	19	43	84
	17.4%	19.6%	21.2%	11.0%	12.9%	22.2%	28.3%
結婚に関する相談支援	4	3	12	12	14	21	47
	17.4%	6.5%	14.1%	9.4%	9.5%	10.8%	15.8%
その他	4	5	13	21	16	15	14
	17.4%	10.9%	15.3%	16.5%	10.9%	7.7%	4.7%
無回答	2	0	0	3	1	6	28
	8.7%	0.0%	0.0%	2.4%	0.7%	3.1%	9.4%

【居住地区別】

	南地区	東地区	西南地区	中央地区	西地区	北地区	南西地区
合計	263	90	129	89	96	70	177
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
安定して暮らせる住居の提供、住宅に対する補助支援	182	60	87	59	65	43	118
	69.2%	66.7%	67.4%	66.3%	67.7%	61.4%	66.7%
若者の就労支援	147	56	74	41	57	36	97
	55.9%	62.2%	57.4%	46.1%	59.4%	51.4%	54.8%
子どもの預け場所や居場所の充実支援	119	40	65	46	47	36	90
	45.2%	44.4%	50.4%	51.7%	49.0%	51.4%	50.8%
結婚や出産、育児に関する資金貸与や補助支援	102	41	61	32	47	28	77
	38.8%	45.6%	47.3%	36.0%	49.0%	40.0%	43.5%
学校などの教育環境の充実支援	83	31	42	25	39	24	54
	31.6%	34.4%	32.6%	28.1%	40.6%	34.3%	30.5%
子どもの貧困やヤングケアラー対策などの支援	67	15	39	18	25	12	39
	25.5%	16.7%	30.2%	20.2%	26.0%	17.1%	22.0%
妊娠出産育児に関する相談サポート支援	51	25	31	17	23	11	36
	19.4%	27.8%	24.0%	19.1%	24.0%	15.7%	20.3%
男女の出会いの場の提供支援	54	20	30	20	23	13	28
	20.5%	22.2%	23.3%	22.5%	24.0%	18.6%	15.8%
結婚に関する相談支援	27	9	22	12	12	9	20
	10.3%	10.0%	17.1%	13.5%	12.5%	12.9%	11.3%
その他	19	11	13	4	6	12	22
	7.2%	12.2%	10.1%	4.5%	6.3%	17.1%	12.4%
無回答	13	1	1	8	7	3	7
	4.9%	1.1%	0.8%	9.0%	7.3%	4.3%	4.0%